

会議・協議等記録簿

会議名	令和2年度 第3回佐久市社会教育委員会会議		
日時	令和2年12月17日(木) 午後1時30分～午後3時30分	場所	市役所8階 大会議室
出席者	社会教育委員9名(中澤功委員長、柳澤優子副委員長、柳澤博委員、井出眞一委員、畠山文雄委員、奥村繁子委員、小林一委員、依田元子委員、依田とく代委員)		
	事務局6名(生涯学習課長、生涯学習係長、生涯学習係、社会教育指導員3名)		

令和2年度第3回佐久市社会教育委員会会議

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議事項

(1) 社会教育委員日より「そよかぜ」第4号に寄稿した研修会等について

委員長：「そよかぜ」第4号には5名の委員に寄稿していただいたので、感想等を聞かせていただきたい。

委員：長野県では若年層の自殺が多くなってきている状況だが、自分はそのままで把握していなかった。現職の時から現在まで、自分の周りでも数件はあったが、コロナ禍で増える傾向にある。一人でも減らすにはどうしたらいいか。受講して思ったことは、学校が一番重要であり、子供たちと接する先生や周りの人達、親がどのように関わっていくのか、そこが重要だと感じた。今の仕事や社会教育委員としてこの問題にどのように対処したらいいか自問自答している。いろいろな人たちがゲートキーパーになって聞き役になってあげられればいいのかと感じた。次の議題の教育委員との懇談会についての中で、佐久市の学校の現状と課題について取り上げてもらいたい。

委員：望月の講座は、感染対策も工夫していて、人数も丁度よいと思った。至れり尽くせりの講座ではなく、考える余裕を与えるということ、自分たちで工夫して作るのがよかった。

委員長：同じく望月の講座に参加したが、完成後、秘密のマーク探しをした子ども

が、感動して上げる声の大きさに驚いた。それは自分で考えて苦勞して作ったからであり、そこに、親や周りの大人たちが関わっていく、これが社会教育だなと感じた。

副委員長：臼田公民館の初心者俳句講座を見学したが、参加者は、登山や買い物の時など、いろいろな場面で俳句の題材を探しているらしい。

委員：臼田公民館の講座で、スタードームの職員から話を聞いた後、雨が止んだ30分間星空を望遠鏡で見た。木星と土星を観察することができ、星空に関心を持ったので、11月のスタードームでの星空見学会にも出かけた。

委員：編集後記でも書いたが、地域の公民館が生涯学習の体験を提供してくれて、子ども達も一緒に活動させてもらい、年をとってもいろいろ学んでいてすごいなと子ども達は感じて帰ってくる。子供たちは、その経験から興味を持って、永く学び続けることができるのではないかと思った。

委員長：他にご意見はありますか。

委員：自死の問題は、家族の思いで、事故や病気と報道されていることがもあるようだが、水面下で起こっていることを私たちは認識して対応していかないといけないと思う。全ての人がゲートキーパーになれるよう学んでいく必要があると感じた。

副委員長：子ども達の言葉使いや顔色を気にしながら、見守り隊をしている。ある機会にゲートキーパーの話を聞いたことがあるが、難しく考えないで、誰でもなれるという事を知っていただくことが大事だと思う。

委員長：いろいろな所でそのような輪が広がるといいと思います。では「そよかぜ」4号ですがこの形でよろしければ、会議終了後に発行します。続いて、教育委員との懇談会について事務局より説明願います。

(2) 教育委員との懇談会について

今年度は、令和3年2月15日月曜日の午後に開催する。昨年度は進め方としてワールドカフェ方式をとり、テーマ『地域社会と学校をつなげる』『いち市民として、日ごろ思うこと』『これからのこと』について対話をした。今回はどのような進め方で、どんなテーマにするのかを決めていただきたい。

委員長：進め方とテーマについて協議します。まず進め方について。ワールドカフェ方式がいいか、従来の会議方式がいいか、ご意見をいただきたい。

委員：昨年はワールドカフェ方式で、意見交換も活発にでき、模造紙に書くことで様々な気付きを得ることもでき、有意義な時間が持てた。今年度はコロナ禍で、グループ討議はどうなのかと考えるところもあるが防止策等をとってワールドカフェ方式の話し合いが良いと思う。

委員：ワールドカフェ方式は良かった。しかし議題によってはその方式がなじまないものがあるかと思う。例えば自死の問題などは具体的な話題となった場合ワールドカフェ方式での話の持っていく方は難しいと思うので、まずは議題を決めたらどうか。

委員長：自死の問題は大事なことではあるが、もう少し広い話題ではどうか。

委員：大きなテーマが決まると話し合いをしやすと思う。昨年の方式はみんなが意見を言えて良かった。昨年のような社会教育委員として、教育委員として、その前に市民として地域でどのように生きていくか関わっていくか

課題をどのように解決してくのか、についての話し合いは重要だし話しやすいと思う。

委員：コロナ禍での地域社会や学校の現状と課題というように、「コロナ禍における〇〇」というような議題を設ければ、地域から学校から社会から自死の問題からといったものを含んでの話し合いができると思う。今年度の話し合いについては、コロナ禍の問題を抜きにしては語れないのではないかな。

委員長：コロナ禍での地域や学校の問題と議題を設ければ、自死の問題や、防災のことなども話すことができるが、いかがかな。

委員：コロナ禍で生活様式も大きく変化している、そのようなことも話し合う議題となりうると思う。

事務局：SDGs、シトラスリボンの活動においても、だれ一人取り残さないということは重要なテーマである。また、体はソーシャルディスタンスを保ちつつ、心は寄せ合っていきましょうということはコロナ禍においては大きなテーマではないかと思う。このテーマだと内容に含まれるのが大きすぎて、話がまとまらないかもしれないが、今まさに話し合うべき内容ではないか。どのように地域課題に向き合うかということで話し合うのは良いのではないかな。

委員：コロナ禍の逆境の中でも育っていく姿、そのようなことを出しあうのも良いことではないだろうか。色々な立場から意見を出してもらえるとよい懇談になると思う。

委員長：議題としては「コロナ禍における〇〇」また、話し合いの進め方としてはワールドカフェ方式が良いという意見が多く出されたがいかがかな。ワールドカフェ方式の進め方の中で、提案として他のグループの意見を移動する間に見て回るだけではなく、見る時間をしっかりとってはどうか。また、2月の懇談会の前に、社会教育委員会議をもう一回開き、ワールドカフェ方式の話し合いをやってみてはどうか。

委員：去年は教育委員と議題についての温度差があった。我々はしっかり話し合ってから臨んでいるのに対して、来ているだけの印象もあった。事前にテーマをしっかりと伝え考えてきてほしいと思う。

委員：この懇談会の目的は何か、どのようなスタンスで懇談会に臨むべきか今ひとつわからない。はじめてなので今までの経過等教えていただきたい。

委員長：社会教育委員会議は諮問機関であるけれど、いきなり諮問という重い案件ということだけでなく、日頃より教育委員と社会教育委員とで連携をとって市の教育の問題について考えていきたいとの思いから、懇談の機会を設けてもらっている。何かを決定したりするわけではないが、心の距離が縮まったと思っている。

委員：わかりました。そのことを踏まえ、1月に社会教育委員会議を開きワールドカフェ方式の話し合いをしてみるとしたら、その時に教育委員はどのようなことを問題としているかの提供をしてもらい、そのことについても話し合ったら2月の懇談が深まるのではないかな。

委員長：双方からの議題提供も良いと思う。教育委員からの提案も可能かな。

委員：「コロナ禍における〇〇」のテーマは共通として、その中で特に話したい議題について教育委員から提案してもらおうのはどうか。

委員：こちらからの議題だけでなくお互いに議題を持ち寄った方が話し合いが深まると思う。

事務局：この懇談会についての議題提供は、社会教育委員からとなっているが教育委員にも議題について聞いてみることはできる。

委員：あえてテーマを何かありますかと聞くのではなく、「コロナ禍における○○」のテーマで何か議題がありますかと聞いたらどうか。

委員：懇談会なので双方が主体的でないといけないと思う。

委員：今年のテーマならだれでも共有できるものではないか。事前にテーマを知らせて、意見をもらえたらいいのでは。

事務局：昨年も事前に知らせてはいる。ワールドカフェ方式を初めて行い、社会教育委員はリハーサルをしていたが、教育委員は以前の会議をイメージしていたと思う。今年のテーマを伝え、皆さんそれぞれの立場での思いや考えを発言していただきたいと説明しておきたい。

委員長：懇談会のテーマは『コロナ禍における地域や学校の現状と課題』とし、ワールドカフェ方式で進めます。続いて、生涯学習及び公民館に関するアンケートについて、事務局より説明願います。

(3) 生涯学習及び公民館に関するアンケートについて

現在、生涯学習課ではインターネットを媒体にして令和2年11月11日（水）から令和3年1月3日（日）までの期間でアンケートを実施している。通常、公民館講座に参加した方にはアンケートを取っているが、講座に参加していない方やインターネットを活用している若い方が、どの様なご意見を持っているのか、また市外や県外の他市町村ではどのような取り組みをしているのかを聞き、回答いただいた意見を基に、今後の学習メニュー作りや利用しやすい公民館を目指すための参考にしたいと思っている。委員さんはもちろん知り合いの方にも周知をお願いしたい。

委員長：皆さん協力を願います。

(4) 今後の予定について

次回の社会教育委員会議を令和3年1月25日（月）午後1時半から、南棟3階大会議室で開催する。内容は、教育委員との懇談会にむけての話し合いをするので、多くの委員の皆さまに参加いただきたい。

委員長：昨年のように令和3年2月15日は教育委員との懇談会終了後、最後の社会教育委員会議を行いたい。

(5) その他

委員：スポーツ関係の情報ですが、11月から小学生・中学生中心の大会が開催できている。小学生のドッチボール、駅伝、1月3日のスケート大会は予定通りだが、元旦マラソンは中止となった。4月の競歩大会の開催は難しそうであるが来年どこかで代替大会を計画したいと考えている。

4 閉 会